

女性活躍推進フォーラム 第2回

離反減らす接遇テクニク学ぶ

大熊三恵氏がセミナー実践講座

各班が企画立案に着手

令和6年度第2回「女性活躍推進フォーラム」が10月30日に、東京・日本橋三洋グループビルで、会員企業とMIRAI加盟企業20社から、女性正規社員29人が参加して開催された。

開催時間前から開放された会場には多くの参加者が集まり、チームでの打ち合わせが行われていた。山下夏恵委員の司会で始まったフォーラムはまず、各チームの進捗状況の報告が行われた後、前回のフォーラムが終了してからの1か月で話し合いを進め、決めたチーム名がリーダーから発表された。

続いて、デライトモア代表取締役大熊三恵氏を講師に迎え、「増客につながる接遇力アップ実践講座『また来たい』につながる好印象」と題するセミナーを開催した。集客はたくさんの人に来てもらうこと、増客はそのお客様がまた

美しい所作をみんなで学ぶ



来てくださる、さらには友だちを連れてくることを意味する、という定義の元に、まずはホールに立つ際にどういう印象でありたいか、ホールとしての営業コンセプトと自身の接客コンセプトを明確にすることから始めること、などが提

案された。ホールでの接客には、不公平感の徹底的な排除など、他業種とは異なる配慮が必要となってくるが、これらを意識することも、増客以前の離反を減らす接遇のテクニクにつながる

テーマと参加者 (順不同、敬称略、(株)略)

Aグループ「リリシヨ」 = 長田由香里(フローバ)、高橋利奈(夢コーポレーション)、川本和華(キスケ)、望月聖梨奈(ABC)、小野寺美優(セントラル伸光)

Bグループ「本気RIMCCS (ガチリミックス)」 = 岩田瑠恵(ミナミ・エンタープライズ)、小栗千奈(平成観光)、郷古知花(NEXUS)、岡崎泉海(日拓ホーム)、山本真由香(夢コーポレーション)

Cグループ「一期一会」 = 阿部陽子(合田観光商事)、田中尚子(フローバ)、上野由夏(正栄プロジェクト)、藤田瑞季(マルハン)、富田真衣(平成観光)

Dグループ「cool*womans」 = 箱崎優香(善都)、矢野亜弥佳(キスケ)、満尾夏南(マルハン)、柳本美結(アサヒディード)、中林優奈(安田屋)

Eグループ「breaktime」 = 原田愛(三慶商事)、田中冴佳(ダイナム)、笹川ゆき乃(オータ)、澁紗彩(日拓ホーム)、中原美咲(第一物産)

Fグループ「F4」 = 若山久美(合田観光商事)、岩谷恵里香(正栄プロジェクト)、佐藤早苗(ニラク)、中川恵里香(オータ)



フォーラムであいさつする
羽山副委員長

7時間(就業時間相当)笑顔を保つことなどが伝えられた。途中、表情筋を作るためのトレーニングや、美しい所作などを体験。さらに、今多くのサービス業で課題となっているカスタマーハラスメントへの対応策、クレーム対応のポイントなどを具体的に学んだ。

第2部のグループディスカッションでは、企画書の作成作業をガイドラインとして、より具体的な企画立案を目指した。

委員長が、「みなさん活発に意見交換をされていて安心しました。2回目のフォーラムですが、実は折



◀▲講師のデライトモア代表取締役大熊三恵氏



ック上にアップする。

の発表動画をスラ

のリアル開催時

として、過去

のリアル開催時

の発表動画をスラ

ック上にアップする。

り返しを迎えています。相手に伝わるまでがプレゼンテーションなので、会社に戻って一度伝わるか試していただき、これからさらに企画を練り込んでいただければと思います」とあいさつした。

人材育成委員会

10月30日
日本橋三洋グループビル
出席委員等13人

12・19フォーラム開催

同日開催の「令和6年度第2回女性活躍推進フォーラム」では、各グループに委員が加わり、現状のヒアリングを行った。次回は発表資料のパワーポイントの作成段階に入るため、企画のアウトラインを形作るア

ドバイスが必要

にに応じて行っ

た。また、プ

レゼンの見本

として、過去

のリアル開催時

の発表動画をスラ

ック上にアップする。



人材育成フォーラムは12月19日

社会貢献・環境対策委員会

10月24日
本部会議室(ウェブ会議)
出席委員等11人

特設サイトに活動の模様掲載 全国クリーンデーの結果等報告

第7回全国クリーンデーの最終報告が行われた。参加企業数は全国208社となり、1569か所で6407人が活動し、昨年とほぼ同数となった。また、期間中にSNSで#クリーンデーのキャンペーンを行ったが、過去最高の136件となったほか、全国クリーンデーの特設サイトへのアクセスが増加したことが報告された。今後同サイトには、参加企業から寄せられた活動の様子(画像)なども順次掲載していく。

宮城県で活動を続けている「日遊協共生の森」のうち、東松島市矢本東地区が2025年3月で協定の期限を迎える。植栽から10年を経過し、今年の枝打ち作業時に十分な成長が確認されたことから

に、「カスタマーハラスメント」をテーマに実施する。

「令和5年度に関するダイバーシティアンケート(案)」が提出され、内容確認が行われた。

返還を決めた。また同時期に協定の期限を迎える同市矢本西地区は、まだ5年で成長を見守る必要があるため契約を更新する。25年度は5月後半をめどに、枝打ちや草刈りなどの作業を実施する予定とした。

公立諏訪東京理科大学篠原菊紀教授による「スマートPLAYSスタイルと認知機能低下防止の関係」についての内容が報告された。また、10月24日には日遊協九州支部総会で篠原教授の講演会が行われ、動画のアーカイブと資料は会員サイトで共有する予定。広報調査委員会から例年同様、今年度のパチンコ・パチスロファンアンケートの設問設定依頼を受け、詳細を検討し回答する。